

農家での牛胚性判別

福島県畜産試験場企画管理部
平成17年度畜産試験場成績概要

- 1 部門名 畜産－肉用牛－畜産繁殖
分類コード 07－02－38000000
- 2 担当者 小林準・本多巖
- 3 要 旨

牛胚の性判別技術は受胎率の向上など解決すべき点はまだみられるが、性判別処理という実験室レベルの技術はすでに確立している。そこで、農家由来胚を用いて性判別および受精卵移植を行い、性判別技術による子牛の生産を実証した。

(1) 平成15年度から17年にかけて、2軒の酪農家で実証を行った。

(2) 1軒の酪農家（経営者は獣医師）は自身で胚の回収、性判別、移植を行った。もう1軒の酪農家では胚の回収と移植を民間獣医師が行い、性判別は試験場で実施した。

(3) 合計27個の胚について性判別を実施し、雄判定の胚が10個、雌判定の胚が17個であった。雌判定の胚のみを新鮮胚移植またはガラス化保存した後に移植し、産子10頭のうち6頭が雌、4頭が雄であった。

以上の結果から、民間でも機器を購入すれば自身で胚の性判別が可能なことや、試験場への持ち込みによる性判別も可能なことが立証された。一方、最新機器を用いても性の不一致は完全には免れなかった（今回の実施者は胚の操作にも熟練している）。このことを前提にした上で、農家由来胚の性判別は十分可能であると考えられた。

4 その他の資料など

なし